

生命科学データベースの統合的利活用のための基盤構築



講師

五斗進先生

情報・システム研究機構

データサイエンス共同利用基盤施設

ライフサイエンス統合データベースセンター

教授（副センター長）

◆日時：2024年2月9日（金）16時35分～18時05分（オンライン）

◆開催方法：オンライン開催

講演概要

生命科学分野では実験・計測技術が様々な分野で進展しており、マルチオミクスデータなど多種多様なデータが大量に生み出されている。また、文献中の知識も増大しており、これらを既存のデータベースの知識と組み合わせることで解析することが必須となっている。様々なデータを統合して使えるようにするには、遺伝子やタンパク質などのIDやそれらに意味付けをする際のオントロジーを共通化する必要があるが、多くのデータベースは独自のID体系やオントロジーを用いており、それらを統合的に使えるようにするためには地道なデータ整備が重要となる。ライフサイエンス統合データベースセンターでは、それらの整備を進めるとともに整備されたデータからデータを再利用し組み合わせるための基盤技術を開発している。また、開発した基盤技術の応用として、ヒト関連データの統合データベース開発なども進めており、それらの活動について紹介したい。

問い合わせ先

伊藤和義：kazuyoshi★soka.ac.jp

研究所HP：<https://www.soka.ac.jp/glycan/>

